

環境県民フォーラムだよ！

VOL. 56 2026年3月1日 発行

2024年度フォーラム助成金実績について

当フォーラムでは会員団体を対象に、奈良県内の「地域に根ざした環境保全活動」及び「地球温暖化防止を目的に生活様式の見直しをすすめる活動」に取り組む団体を支援する助成金制度を2023年度より設けています。

2024年度には、4団体に助成させていただきました。今回はそれぞれの団体が助成金を活用して実施しました事業について紹介をさせていただきます。



奈良県エコキャラクター
なへらちゃん

小学校環境学習のための教材開発 実施団体：NPO法人 奈良ストップ温暖化の会(NASO)

「気候変動」は今や私たち含め全ての生き物の生存基盤を揺るがす「気候危機」の時代です。そんな中、世界も、日本も、その危機を何とかくい止めるため、カーボンニュートラル(脱炭素社会)に向かっています。奈良県及び県内市町村においてもゼロカーボンシティ宣言をするところが増えていきます。

そこで、次世代を担う子どもたちとともに学び、考え、実践につなげてもらうため、県内小学校において環境授業を実施しました。気候変動の原因は人為起源の温室効果ガスであること、私たち一人ひとりが暮らしの中で出来る対策について自分ごととして考えてもらえるよう、ワークショップ体験を通じて伝えました。それをさらに拡大・深化させるため、子どもたちが意欲を持って主体的に学ぶための教材開発を行いました。



視覚的に的確に学べる動画教材を制作するため、何度も会合を行い、シナリオの作成、パワーポイント資料の作成、動画の撮影、編集をし、出前授業を実施する小学校へ限定配信しました。

またそれをふまえ展開するワークショップ「温室効果ガスはどこから？」を考える「まちの絵」「いえの絵」もオリジナルで制作し、楽しく話し合うためのツールとしました。

「地球交響曲(ガイアシンフォニー)第九番」上映会 実施団体：リサイクルクラブ天理

当団体は1994年9月に発足して30年、映画「地球交響曲(ガイアシンフォニー)」を第一番からシリーズで上映会を開催してきました。

この映画は、龍村仁監督が生命の不思議さや尊さ、地球環境保全の大切さ、宇宙の神秘を映像や音楽を通じて私達に訴えかけてこられたものですが、令和5年1月に逝去されましたため、今回上映の第九番が遺作となってしまいました。

上映会開催にあたっては、NPO法人環境市民ネットワーク天理、天理市環境連絡協議会、天理大学等多くの団体の方々のご協力により開催することができました。また、チラシ2,200枚を作成し、天理市内の公共施設・天理大学や奈良県内環境保全団体の他、京都・大阪の環境団体・環境関係会合で配布し、ネットでも発信して多くの方に知ってもらえるよう努めました。

しかし、当日参加者は125名と実績は予想を下回りましたが、参加者からは「明日からの生活や行動を見つめ直すきっかけとなった」、「改めてこの美しい地球を後世まで残していきたい」「なぜか涙が止まらなかった」などの感想を多くいただきました。

リサイクルクラブ天理の30周年記念としてこの上映会を実施できたことは大きな喜びとなりました。



「香害」についてのアンケート調査・集計と結果の周知事業 化学的な香りに苦しむ人の実態についての把握と善後策の検討

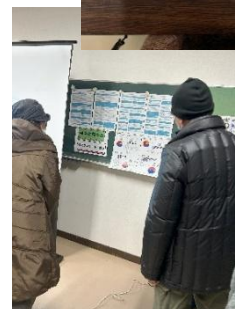
実施団体:NPO法人 ほっとねっと

当NPOに寄せられた相談がきっかけで知った化学的な香りに苦しむ人の実態についての把握をするためのアンケート調査を実施したところ、300回答近く回答を得て、その結果を報告書にまとめることができました。

アンケート結果からは、回答者自身が化学的な香りによって体調を崩した人が38.9%、家族や知り合いで体調を崩した人が29.1%と予想以上に多いことがわかりました。また、生活に支障をきたすことはないが不快に思う人も予想以上に多く、深刻度が高い人だけでなく、軽微な害についてもさらに細かく調べていくことも必要ではないかと思いました。

一方で、化学的な香りに苦しむ人の存在、被害を知らない人のほうが圧倒的に多く、アンケートの実施により、一人でも多くの人に知ってもらうことや、自分の生活環境の見直しにつながったのも成果の一つと考えています。

また、実際に香害に苦しむ深刻度の高い人は外出が困難であるなど非常に生きづらさを抱えていることも検討会議やヒアリングを通してわかったことです。善後策としては当事者、議会議員、教員などとの意見交換をふまえ、まずそのような実態を世の中に広く知らせることを検討していきたいと思います。



山の辺の道沿道の圃場における里山景観・保全維持活動の推進

実施団体:山の辺の道ファンクラブ

山の辺の道沿道に四季折々の花々を植付け管理して、行き交う人々に四季折々の風情を楽しんでいただいています。

活動の中で県内有志との繋がりを通して、次世代を担う子供たちに里山景観・保全維持の大切さを残したいと思い、4月13日に「菜の花祭り」、10月19日～11月9日の木・土曜には「山の辺の道祭り」を企画・開催し里山の風情と恵みを楽しんでいただきました。



次世代への取組みとして10月には天理市内の小学校4年生2クラスに「菜の花」を教材に菜種の搾油実演等も含め、楽しく自然資源循環社会の出前授業を行いました。また、当クラブで初めての試みとして、11月に柳本小学1年生に山の辺の畑で育てた「ピーナツ掘り」体験課外授業を企画、体験を通して里山の恵みを学んでいただきました。

12月には県観光力創造課主催で「山の辺の道」の観光資源をより多くの人に知っていただく為に、山の辺の道沿道の圃場活用した「菜の花」植付けを当クラブとコラボ作業のツアーを企画、一般公募で他府県、県内含め12名の参加者とコラボ作業実施、作業後のBBQで懇親を深めました。

今後も「山の辺の道」の沿道の風情景観・保全維持活動を発信していきたいと思います。

2026年度フォーラム助成金の募集について

募集期間:2026年4月23日～6月30日 募集团体数および助成額:1団体 5万円

当フォーラムでは、2026年度も4月開催の総会での予算承認を条件に助成団体募集を行う予定です。会員はもちろん、会員外の団体においても、要件を満たせば応募が可能です。

詳細、応募方法は[上記募集期間内](#)にホームページ(右のQRコードよりアクセス)を参照ください



エネルギー 分科会

所属団体の取り組みをご紹介します (奈良ストップ温暖化の会・ならコープ)

1. うちエコ診断(奈良ストップ温暖化の会)

夏の猛暑が年々深刻さを増していますが、暮らしから出るCO2を減らすことで、温暖化の進行を緩やかにできます。「うちエコ診断」はライフスタイルに応じたCO2削減の方法を、専門の診断士と一緒に考えご提案するもので、診断結果がグラフ等でその場で見える化されます。今年は奈良県等の委託事業として実施し、約50世帯の方が受診されました。参加者からは「どの対策の効果が大きくて、元が取れるか分かりやすかった」と好評でした。

診断数か月後に行ったアンケート結果によると、受診者の取り組みにより、1世帯当たり平均で年間約800kgのCO2(約15%)の削減につながりました。



環境イベントでの診断の様子



診断結果が見える化

2. 「コープの森」での記念植樹式(ならコープ)

11月29日、市民生活協同組合ならコープの50周年+1を記念して、上牧町・大和森林管理協会・森林所有者・ならコープの4者が、地域の自然環境の保全と、次世代につながる豊かな森づくりを目的に、「陽楽の森(上牧町と王寺町にまたがる里山)」の一部に共同で整備を進めてきた「コープの森」で記念植樹式を開催しました。

当日は、組合員や地域住民、行政、関係団体等、約200人が参加しました。

植樹式では約50本を植樹し、「自分が植えた木の成長が楽しみ」といった声が寄せられました。木登り体験やたき火、木工工作等のブースも設けられ、参加者は森の中でさまざまな体験を楽しみました。



協定締結式



植樹の様子

「特定非営利活動法人 奈良環境カウンセラー協会(通称 NECA)」を紹介します

環境カウンセラーとは、環境に関する知識と豊富な活動経験を持ち合わせ、環境省の人材登録制度に基づき実施される審査に合格した人になることが出来ます。環境カウンセラーは、事業者部門と市民部門に分かれ専門分野や相談を受ける団体によって専門分野の異なる環境カウンセラーが対応します。

当分科会の構成員であります『NECA』は昨年設立20周年を迎えました。現在の会員数は15名で、次の活動をしています。活動の詳細はホームページをご参照ください(下記QRコードを読み込んでください)

- ・奈良県ゼロエミッション推進協働事業の「環境カウンセラー派遣委託業務(産業廃棄物発生抑制減量化)」として環境カウンセラーの派遣を行っています。また地球温暖化対策推進の為に「CO2削減アドバイザー派遣業務」として派遣を行い、いずれも事業者への効果的な提言を行っています。
- ・「中小企業等エネルギー利用最適化推進事業」の省エネ診断を2025年度、8件実施しました。
- ・奈良県の環境総合計画の推進支援として協力を行っています。また、「麗(うるわ)しい奈良県づくり推進協議会」及び「奈良県節電協議会」に委員を派遣しています。
- ・環境経営システム(エコアクション21、ISO14001等)の体制構築のための伴走支援も行っています。
- ・学校教育の関係では、奈良市立佐保小学校へビオトープ学習の支援を行ない、自然観察、維持管理、環境整備等、体験型で身近なエコスクールの推進を図っています。

また、2025年度の「奈良県環境県民フォーラム助成事業」として、カーボンニュートラルゲーム脱炭素社会についての研修も行っています。

エコライフ 分科会



カーボンニュートラルゲームによる脱炭素社会についての研修の様子



NECAのURLはこちら

「大阪湾フェニックス計画」大阪沖処分場を見学しました

「大阪湾フェニックス計画」は、大阪湾に埋立処分場を設け、近畿2府4県169市町村の受け入れ区域から発生した廃棄物を海面埋立により最終処分しており、尼崎沖・泉大津沖・神戸沖・大阪沖の4か所の処分場があります。

今回、資源活用分科会の見学会として12月9日に、大阪沖処分場の見学に行ってきました。

大阪建設事務所で説明を受けた後、船に乗り15分で埋め立て処分場に着きました。処分場は総延長約4.4kmあり約95haの広さです。基地から船で運ばれた廃棄物が揚陸岸壁から油圧ショベルで大型ダンプトラックに積み替えられ、浮き栈橋から埋立地に投入されていきます。埋立地の水は、護岸内に設置された遮水矢板で海の水と遮断されていて、排水処理施設で浄化後、水質検査を経て海へ放流されていました。

現在、尼崎沖と泉大津沖の処分場への廃棄物の受け入れは終了しています。また、神戸沖処分場では87%、大阪沖処分場では58%の進捗率で埋立が進んでいます。

大阪沖処分場は、平成21年から受入れが開始され、令和14年度末までの受入れの予定をされていますが、開始時より廃棄物の量が1/3程度に減ってきていて、今後受入れ期間が伸びる

事もあるようです。

昨年度に搬入された廃棄物の38.1%は一般廃棄物です。今後、処分場が長く使えるように、私たちもごみの減量に努めなければならないと思いました。



展望台より埋立地を見る



油圧ショベルで陸揚げ



処分場へ行く船に乗船



廃水処理施設

自然体験教室 「ピーナッツ掘り体験学習」を実施しました

山の辺の道ファンクラブが5月より管理する山の辺の道の畑に、ポット種まきから定植したピーナッツ。

今年の夏の猛暑にもめげず元気に育ち、11月に収穫期を迎えたピーナッツを、自然体験教室の一環として11月6日に柳本小学校1年生の皆さんへ体験学習を実施しました。

当日は晴天に恵まれ青空のもと、元気な1年生にピーナッツ掘りの体験と地中で育っていることを初めて学んでいただきました。枝を引きぬくと子房柄の先についたピーナッツの鞘がたわわについているのをみんなわいわいと取り合って収穫箱に入れていました。

収穫後は茹でたての格別おいしいピーナッツをご賞味していただき、生ピーナッツを手土産に意気揚々学校へ帰って行かれました。

山の辺の道ファンクラブのスタッフも1年生の元気を頂き、次回への励みとさせていただきました。

また11月29日、2回目の試みとして、奈良県観光力創造課主催の「ピーナッツ掘り体験ツアー」を企画していただき、応募者親子30人にピーナッツを収穫・試食する体験をしていただきました。

天気を心配していたのですが作業日は晴天に恵まれ、参加の皆さんには作業を楽しみながら和気あいあいと手際よく実践されていました。ピーナッツ豆が地中で育つのを初めて知ったと言っておられたのが印象的でした。



ピーナッツ掘り体験ツアーの様子



体験学習の様子

自然環境
分科会

資源活用
分科会



「やまと菜の花ねっと」 ～菜の花だより・橘だより～



奈良フィールド（活動団体:大和の国・菜の花エコプロジェクト 事務局 宙塾）

奈良市北永井フィールドでは、「地域の自然や文化歴史を愛し、世界の平和を願う子どもを！」をモットーに地球温暖化対策地域協議会（通称NEW）の中で、奈良市の進める世界遺産学習・ESDを推進しております。

2025年も奈良市にある世界遺産の寺社に菜種油を奉納しました。

11月2日には「菜の花移植&芋ほり体験」を実施し、72名が参加しました。今年のサツマイモは不作でしたが、家族一緒に楽しそうに実施してくださって、ホッとしました。奈良女子高校から7名のボランティア協力があり、彼女ら自作の防災クイズで子ども達を楽しく学ばせてくださいました。

昨年作ったミニビオトープはヤゴを始め何種類かの生物が確認できました。北永井町自警団、ナルク奈良、NEW 菜の花ボランティアの皆さんのご協力でも今年もにぎやかに楽しく環境イベントの体験ができました。今年度は植物の生殖（受粉）に欠かせない「ハナバチ」への理解を深め、保護する計画を練っています。



高校生による防災クイズ



春日大社に菜種油を奉納

イベント情報：4月12日(日)10:00～12:30「菜の花祭り」場所 北永井フィールド



桜井フィールド（活動団体:さくらい菜の花プロジェクト）

桜井市内保育所との菜の花の植栽活動は、10年以上になりました。

園児たちが育てたナタネ油は寺社の灯明油として毎年、大神神社・等彌神社・長谷寺に奉納しています。菜種油は大神神社では年頭を飾るご神火の祭典(1月1日0時00分)に用いられ、長谷寺では1月の修正会や2月の修二会などの護摩供に使われるそうです。

このような大切な行事の時に自分たちが作ったナタネ油が使われることが、子どもたちの心に残り伝統文化継承につながることを願います。

菜の花の植栽推進活動として、10月に関東方面からの修学旅行生の民泊体験でナタネの種まきをしてもらいました。夕食は菜種油の天ぷらです。黄色い油に感動、初めての味に感動、200名以上の民泊生徒のうち3人だけの体験ですが、近辺にある菜の花プロジェクトの活動にも興味を持ってもらえたらと思います。



修学旅行生による種まき

11月には立派に育った苗を保育所や各地の圃場に定植しました。

今年は「学校法人敷島学園さくら幼稚園」も菜の花プロジェクトに参加し、外山地区の圃場は広がりました。春には修学旅行生に満開の菜の花畑で資源循環のお話ができることでしょう。



長谷寺・大神神社に菜種油を奉納



葛城フィールド（活動団体:エコ葛城市民ネットワーク）

2025年度も、菜の花プロジェクトをテーマとした環境教育「出前講座」を市内小学校において実施しています。春から夏にかけて市内すべての小学校で、菜の花の刈り取りから種落とし及び搾油の体験を行っております。

9月から翌年2月にかけて、廃食油の利活用を目的とした体験、「キャンドルづくり」をしました。ガラス瓶を持ち寄り、5色のロウを使用して自分だけのキャンドルを作り上げようと楽しく取り組んでいました。

11月には菜の花の「植え付け」をしました。次の学年の児童たちは、NPOが育てた苗を自分たちの手で植え、慣れない農作業でしたが、頑張っており組んでいました。



自分だけのキャンドルづくり

イベント情報(予定):4月4日(土)「菜の花まつり アースデイinかつらぎ」

山の辺の道ファンクラブ

江戸期から明治にかけて綿花作りが奈良県下でも最盛期だったそうですが、現在、綿花の国産品は限られていて大部分が輸入品になっているようです。

そのような現在、SDGs未来を担う子供たちへ、人生百年時代のその先を見据えて綿の魅力と可能性の広がりを見て、聴いて、考え、ともに体験して見ませんかという趣旨で今回、第10回記念大会として11月15、16日に「2025全国コットンサミットin天理」が天理市民会館で開催されました。

天理市の共催で天理市在住のH.A.M.A木綿庵の梅田実行委員長中心に、スタッフとして山の辺の道ファンクラブのメンバーも参加しました。担当は15日に開催された体験コーナーで綿繰り作業の実演(綿繰り機を片手で回して片方の手で綿と種を分離していく作業)と見学者の皆さんに体験指導を実施させていただきました。

多数体験していただき、綿のことを少しでも理解していただき大変有意義なサミットでした。

綿に興味ある方はホームページ「H.A.M.A木綿庵」で検索してみてください。



2025全国コットンサミットin天理に参加

奈良追分コミュニティ

今年の菜の花の栽培は、できるだけ簡略にするために、種を直播にして、苗の移植は行わない方法にしました。追分農園の菜の花は、9月末に種をまき、肥料が良かったこともあるのか、すでに大きく成長しています。

梅園の菜の花は、種をまくのが10月と少し遅かったのですが、農園ほどには成長していませんが、春にはきれいな花を咲かせるでしょう。梅園では、去年の倍ほどに種をまく面積を増したので、春が楽しみです。

大和橘も立派に実り、今年は大きくきれいな実になっています。去年は、黒ずんだ実が多かったのですが、今年は、ほとんどがきれいな黄色で、選別も楽でした。道の駅クロスウェイなかもまちで販売しています。



大和橘



追分農園の菜の花

橘プロジェクト (活動団体:なら橘プロジェクト推進協議会)

11月27日、奈良シニア大学奈良校にて「大和橘、命の灯を繋げ！絶滅から再生への挑戦」のお題で、お話をいただきました。受講者から多数の質問をいただきました。

12月7日、大和郡山市三の丸会館にて第11回大和橘収穫祭を開催しました。準絶滅危惧の大和橘を、活動当初から研究いただいている(株)ファーマフーズ顧問の米谷俊さんに、大和橘の機能成分についての研究成果を発表していただきました。80名にご参加いただき活気溢れる会になりました。



11年目となった収穫祭と大和橘の機能性についての発表

令和7年度ご寄付ありがとうございました

株式会社イオンベーカーリー様 ・ 市民生活協同組合ならコープ様

(五十音順)



バックナンバーはこちらから

編集・発行:

奈良県環境県民フォーラム

【事務局】〒630-8501 奈良市登大路町30番地 奈良県水・大気環境課内

TEL:0742-27-8732 FAX:0742-22-1668

